

船工 第550号
令和6年2月2日

会 員 各 位

一般社団法人 日本船用工業会
専務理事 澤山 健一
(公印省略)

次世代海洋エンジニア会 二期生（若手技術者交流会事業）への参加募集について（ご案内）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当会技術開発戦略検討委員会でとりまとめた「今後の技術開発事業のあり方について」では、従来にない全く新しい発想に基づく技術開発につなげるためには、同業他社あるいは異業種・他分野の技術者との交流を通じて10年後を見据えた各社の将来を担う優秀な若手技術者の連携を深める取組みにより、将来的に新たなアイデアの発掘や、技術的な協力体制の構築等へ繋げていくことが求められています。

このため、技術開発戦略検討委員会及び同WGの検討を経て、当会では2022年より船社・造船・船用の各社の将来を担う若手技術系社員を対象とした交流会事業を実施しました。

実施後の技術開発戦略検討委員会及び同WGでの審議の結果、本事業を継続するとともに、海事クラスター（船社・造船・船用・保険・船級等）全体へと枠を広げ、本事業を1年間計4回のプログラムで実施する方針となりました。

については、本事業に参加ご希望の会員企業におかれては、**来る2月29日(木)まで**に下記の専用フォームに必要事項をご記入の上、お申し込みいただきますようお願い申し上げます。

なお、当会では、お預かりした個人情報をご当会HPに掲載している目的以外に使用しません。

敬具

記

<実施計画>

・次世代海洋エンジニア会の実施計画（別添）

<申込フォーム>

<https://forms.office.com/r/dThtiwEUjb>

(問い合わせ先)

一般社団法人日本船用工業会 技術部 文屋 / 三田村 / 和間

TEL : 03-3502-2041 FAX : 03-3591-2206

E-mail: bunya@jsmea.or.jp / mitamura@jsmea.or.jp / wama@jsmea.or.jp

以上

次世代海洋エンジニア会 二期生（若手技術者交流会事業）の実施計画

1. 事業名

次世代海洋エンジニア会 二期生(NGMEA 2nd gen)Next Generation Marine Engineer Association

2. 目的

【会員企業】

今後の船用工業を支える若手技術者職員の（i）技術者の能力向上、育成（ii）海事クラスター内の技術者の交流、ネットワーキング（iii）異分野の技術者との交流を通じた意識改革（iv）異分野と連携した新しい発想に基づく製品開発の機会の創出を提供し、10年後を見据えた各社の将来を担う優秀な若手技術者間の深い交流を築くことを目指した交流会とする。

【非会員】

今後の海事産業を支える優秀な若手社員に対し、海事クラスター内のネットワーキングの構築、業界課題に対する協調領域の発見、具体的な解決策の立案の場を提供し、各社の将来を担う若手社員との深い交流を築くことを目的とした交流会とする。

3. 対象者及び研修人員

- (1) 会員：会員会社の将来を担う優秀な若手技術系社員（原則として、経験年数5年以上概ね40歳以下）*¹
非会員：海事産業の将来を担う各社の優秀な若手社員（原則として、経験年数5年以上概ね40歳以下）
- (2) 会員30名、非会員20名程度（最低開催人数40名）*²
- (3) 実施期間中は原則同じメンバー*³

*1. 本事業を本格始動するために新規に参加募集を行います。なお、令和元年度に実施した若手技術者交流会（トライアルメンバー）並びに令和4年度に実施した若手技術者交流会（一期）の参加者も歓迎します。

*2. 多数のご応募を頂いた場合、各社からの参加人数の調整もしくは、先着順とさせていただく場合があります。

また参加人数が最低開催人数（40名）を下回った場合は開催を見送らせていただきます。

*3. 本交流会は1年間のプログラムを通じてネットワーキングを行うことを目的としていることから、可能な限り同一参加者が全プログラムを通じて参加する様、お願いします。

4. 日程と場所

2024年度の1年間を実施期間とし、下記日程を通して交流会を行う。

	日 程	場 所
① 第1回	2024年 5月15日～5月17日（2泊3日）	集合：小倉 解散：神戸
② 第2回	2024年 7月●日～7月●日（2泊3日）	未定（大阪を予定）
③ 第3回	2024年 9月25日～9月27日（2泊3日）	広島
④ 第4回	2024年 11月22日（1日）	東京

*期間中、参加者には上記日程以外に課題等に取り組んでいただく場合があることについて、ご理解をお願いします。

*上記日程は変更の可能性がございます。

5. 費用

40万円/人

*上記日程において、参加者に関わる交流会中の宿泊・食事・懇親会・研修に関わる費用並びに事業運営費を含んでおります。

*参加者の実施場所への交通費は含んでおりません。

*ご請求については、第1回～第4回の参加費40万円/人をプログラム開始前（4月頃）に行います。

*なお、参加費お支払い後の返金要請はお受けしておりませんので、予めご了承ください。

6. 交流会の形式及び内容（予定）

内容は下表の通り。

	プログラム	内容
①第1回 (合宿) 2024年 5月	キックオフ	顔合わせ、自己紹介、アイスブレイク、交流会の目的及び意識合わせ。
	アイデアソン(前半)	「20年後の未来の船を支えるコア技術（暫定）」と題して海事クラスターで協力して取り組むべき協調領域についてアイデア発想を行う。
	船内見学&意見交換会（阪九フェリー）	船橋、機関室などで船内見学を行い、機器配置、船内構造等の理解を深める。
	グループワーク（チームビルディング）	チームビルディング研修を実施し、業種間の枠を超えた関係性を構築する。
	懇親会	参加者同士の交流を深める。
②第2回 (合宿) 2024年 7月	施設見学	異分野・異業種の研究施設等を見学予定
	アイデアソン（後半）	「20年後の未来の船を支えるコア技術（暫定）」と題して海事クラスターで協力して取り組むべき協調領域についてアイデア発想・中間報告を行う。
	研修	AI活用、デジタルに関わる研修を予定
	懇親会（BBQ）	参加者同士の交流を深める。
③第3回 (合宿) 2024年 9月	船内調査&乗船実習（広島丸）	広島商船高等専門学校の協力の下、同校の保有する練習船「広島丸」にて船内調査、乗船体験を行う。
	アイデアの具現化	検討したアイデアを実際に形にしてみる。
	アイデアソン（意見交換&まとめ）	全体でアイデアの意見交換を行い、フィードバック内容を元にアイデアブラッシュアップ。
	懇親会	参加者同士の交流を深める。
④第4回 2024年 11月	成果物コンテスト（成果発表会）	当会の技術開発戦略検討委員会、同WGの委員及びアドバイザーを審査員として招き、コンテストを行う。

*実施内容については、今後変更の可能性があることをご承知おき願います。

以上